

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2019-10224(P2019-10224A)

【公開日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-003

【出願番号】特願2017-127701(P2017-127701)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月28日(2021.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

取得条件の成立に基づいて情報を取得可能な取得手段と、
 その取得手段により取得された前記情報が記憶される記憶手段と、
 その記憶手段に記憶された前記情報に基づいて判定を実行する判定手段と、
 その判定手段による判定結果を示すための識別情報を所定期間、表示手段に動的に表示する
 ことが可能な動的表示手段と、
 前記表示手段に特定の前記判定結果を示すための識別情報が停止表示された場合に遊技者に有利となる特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を有した遊技機において、

前記判定手段により判定される前の前記記憶手段に記憶されている前記情報のそれぞれに
 対応する図柄を前記表示手段に表示させることができ可能な図柄表示手段と、

前記図柄が表示される領域であることを示す領域情報を可変させることが可能な図柄表示
 領域可変手段と、を有し、

前記遊技機は、

前記図柄が表示される領域であることを示す領域情報を前記図柄が表示されていない状態であっても表示可能であり、

所定の可変条件の成立に基づいて前記図柄が表示されていない前記領域情報を可変され
 ることが可能にされており、

前記図柄が表示されていない前記領域情報を可変されている状況下において特定演出を
 実行することが可能な手段を有し、

前記特定演出が実行されている期間において前記記憶手段に予め定められた所定数まで
 記憶された場合に前記所定数まで記憶されていることを遊技者が識別可能な報知態様を報
 知可能にされており、

前記図柄が表示されていない領域情報は、前記領域情報の少なくとも一部を非表示にさ
 れることで可変されるものであり、

前記所定の可変条件は、前記記憶手段に記憶されている前記情報の数が所定数以下の場
 合に、前記所定数より多い場合に比べて成立し易くなるように制御されることができ
 ることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために本発明の遊技機は、取得条件の成立に基づいて情報を取得可能な取得手段と、その取得手段により取得された前記情報が記憶される記憶手段と、その記憶手段に記憶された前記情報に基づいて判定を実行する判定手段と、その判定手段による判定結果を示すための識別情報を所定期間、表示手段に動的表示することが可能な動的表示手段と、前記表示手段に特定の前記判定結果を示すための識別情報が停止表示された場合に遊技者に有利となる特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を有し、前記判定手段により判定される前の前記記憶手段に記憶されている前記情報のそれぞれに対応する図柄を前記表示手段に表示させることができ可能な図柄表示手段と、前記図柄が表示される領域であることを示す領域情報を可変させることができ可能な図柄表示領域可変手段と、を有し、前記遊技機は、前記図柄が表示される領域であることを示す領域情報を前記図柄が表示されていない状態であっても表示可能であり、所定の可変条件の成立に基づいて前記図柄が表示されていない前記領域情報が可変されることができ可能にされており、前記図柄が表示されていない前記領域情報が可変されている状況下において特定演出を実行することが可能な手段を有し、前記特定演出が実行されている期間において前記記憶手段に予め定められた所定数まで記憶された場合に前記所定数まで記憶されていることを遊技者が識別可能な報知態様を報知可能にされており、前記図柄が表示されていない領域情報は、前記領域情報の少なくとも一部を非表示にされることで可変されるものであり、前記所定の可変条件は、前記記憶手段に記憶されている前記情報の数が所定数以下の場合に、前記所定数より多い場合に比べて成立し易くなるように制御されることが可能にされている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遊技機によれば、取得条件の成立に基づいて情報を取得可能な取得手段と、その取得手段により取得された前記情報が記憶される記憶手段と、その記憶手段に記憶された前記情報に基づいて判定を実行する判定手段と、その判定手段による判定結果を示すための識別情報を所定期間、表示手段に動的表示することが可能な動的表示手段と、前記表示手段に特定の前記判定結果を示すための識別情報が停止表示された場合に遊技者に有利となる特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を有し、前記判定手段により判定される前の前記記憶手段に記憶されている前記情報のそれぞれに対応する図柄を前記表示手段に表示させることができ可能な図柄表示手段と、前記図柄が表示される領域であることを示す領域情報を可変させることができ可能な図柄表示領域可変手段と、を有し、前記遊技機は、前記図柄が表示される領域であることを示す領域情報を前記図柄が表示されていない状態であっても表示可能であり、所定の可変条件の成立に基づいて前記図柄が表示されていない前記領域情報が可変されることができ可能にされており、前記図柄が表示されていない前記領域情報が可変されている状況下において特定演出を実行することが可能な手段を有し、前記特定演出が実行されている期間において前記記憶手段に予め定められた所定数まで記憶された場合に前記所定数まで記憶されていることを遊技者が識別可能な報知態様を報知可能にされており、前記図柄が表示されていない領域情報は、前記領域情報の少なくとも一部を非表示にされることで可変されるものであり、前記所定の可変条件は、前記記憶手段に記憶されている前記情報の数が所定数以下の場合に、前記所定数より多い場合に比べて成立し易くなるように制御されることが可能にされている。